



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ



2016-2017 年度 国際ロータリーテーマ 「人類に奉仕するロータリー」
東京本郷ロータリークラブテーマ 「ひとりひとりができること」

創立/平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

事務局/〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話: 03-3238-5350 FAX: 03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111

〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長: 小野澤亮介 副会長: 小出 豊 会長エレクト: 松下和正 幹事: 井田吉則 会報委員長: 飯田美里

4 月 19 日 第 1224 回例会

2017 年 4 月 19 日発行 (No. 1176)

本日の卓話

「特別区 (東京 23 区) の行方」

特別区議会議長会 会長 白石 英行 様
文京区議会 議長
紹介者 渡辺新吉会員

次回の例会 (4 月 24 日 (月))

上野 RC との合同例会

点鐘: 18:00

於: 上野精養軒

* 4/24 (月) は東京上野 RC との合同例会となるため 4/26 (水) の例会はありません。

4 月 12 日 第 1223 回例会報告

卓話

イニシエーション・スピーチ

飯塚 貞子会員

「内容を録音したデータが事務局にあります」



卓話をする飯塚貞子会員

クラブとしての支援はしない、と決定されました。しかし、個人として賛同し支援を申し出る方がおられる場合は、直接各団体へご連絡をお願いいたします。詳細は、各テーブルに配布いたしました。

幹事報告

会長報告

- 4 月 8 日 (土) 東京板橋ロータリークラブ創立 50 周年記念例会に井田幹事と出席いたしました。早速にお礼状と記念誌をいただきましたので、回覧いたします。
- 先日の理事会において「愛育養護学校」並びに「ひろくを救う会」への支援・協力について諮られ、

- 先日配布いたしました「2016 年 手続要覧」に誤表記があり、国際ロータリーに本事務局より、お詫びと訂正の連絡がありました。正誤表をメールボックスへ配布いたしましたので、ご確認をお願いいたします。
- 地区ロータリーアクト 第 48 回年次大会が 6 月 3 日 (土) タワーホール船堀にて開催されます。詳細・参加希望の方はクラブ事務局へお問い合わせ下さい。
- 昨年 11 月 27 日に開催されました「ロータリー財団 100 周年記念シンポジウム」が収録された DVD をいただきました。1 枚のみとなりますので、ご覧になりたい方はクラブ事務局へご連絡下さい。
- 「ロータリー平和センター・ホストエリア セミナー」に関するご案内が届きました。2 年間にわたり平和研究に励んだフェローの研究成果発表があります。日時: 6 月 3 日 (土) 10:00 ~ 会場: 国際基督教大学 詳しいプログラムは事務局へお問い合わせ下さい。

出席

会員数：52名 欠席出席免除者：5名 出席数：32名
欠席数：15名 出席率：68.09%
3月29日修正後出席率：76.60%

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

* 伊藤 守会員

誕生日祝ありがとうございます。ここで一句「桜舞う 過去と未来の 交差点」解説は希望があれば後ほどいたします。

* 川口勝彦会員

誕生日祝ありがとうございます。63歳になりました。

* 櫛本健夫会員

特別記念日のお祝いありがとうございます。昨日はとても寒かったですが、これから暖かくなりますね。前向きに行きましょう。来週の18日には郷友会女子プロラウンドコンペを開催します。とても楽しみです。

* 井田吉則会員

本日の規定検討委員会、メンバーの方は宜しくお願いいたします。

* 松下和正会員

結婚記念日のお祝いありがとうございます。2人目の孫が10月に生まれます。早いものです。

* 松岡 浩会員

誕生日祝ありがとうございます。誕生日は、ニューヨークにいました。

| | |
|---------|------------|
| ニコニコBOX | 31,000円 |
| 累計 | 1,120,731円 |

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

女性会員が国際女性デーに 人道奉仕のストーリーを紹介

Rotry ホームページ・「ニュース・特集記事」より

世界の反対側に住む人たちの生活をより良くするために活躍する3人のロータリー女性会員がいます。彼女たちにインスピレーションを与えるものは何なのでしょう。

世界銀行がワシントンD.C.の本部で3月8日に主催した「国際女性デー」の祝賀行事で、3人の女性会員がこの質問に答えました。

ラジア・ジャンさん、デボラ・ウォルターズさん、アン・リー・ハッシーさんは、300人の聴衆とライブ中継を視聴した何千もの人たちに前に、それぞれの活動（アフガニスタンでの女子のための学校建設、グアテマラシティのゴミ捨て場に住む人びとへの支援、アフリカとアジアでの予防接種活動）にまつわるストーリーを紹介し、活動のインスピレーションについて語りました。

「学んでいる子どもたちの顔、権利や夢を求めて

立ち上がる人たちの姿、特に、不可能だと思われるようなことに立ち向かい、夢を持つとする人たちの姿にインスピレーションを覚えます」と話すのは、ダクスベリー・ロータリークラブ（米国マサチューセッツ州）のジャンさんです。

アフガニスタン出身で現在は米国に住むジャンさんは過去数十年間、アフガニスタンの若い女性や少女たちの生活改善を支援する活動を通じて、アフガニスタンと米国の橋渡し役となってきました。

アフガニスタンのDeh' Subz群の625人の少女が通う学校、「ザブリ教育センター（Zabuli Education Center）」の創設者で所長を務めるジャンさんは、2015年にこの学校の第一期生が卒業し、近々、女子大学が開校する予定であると話しました。

この女子学校では、数学、英語、科学、テクノロジーのほか、厳しい社会環境の中で経済的自由を達成するための方法も教えています。

ユニティ・ロータリークラブ（米国メイン州）会員で神経科学者のウォルターズさんは、グアテマラシティのゴミ捨て場に住む子どもやその家族に教育や社会的サービスを提供する非営利団体、「Safe Passage」で長年ボランティア活動をしてきました。

「カヤックのおばあちゃん」としても知られるウォルターズさんは、現地の窮状への認識を高めるため、自宅がある米国メイン州からグアテマラまで、小さなカヤックで旅したことがあります。

ポートランドサンライズ・ロータリークラブ（米国メイン州）のハッシーさんは、ポリオ撲滅とポリオ元患者の苦しみを和らげることをライフワークとしてきました。

自身もポリオサバイバーであるハッシーさんは過去14年間、全国予防接種日に参加するために、ロータリアンのチームを率いて発展途上国を訪れてきました。

ハッシーさんは通常、西洋人をあまり見かけない国（バングラデシュ、チャド、マリ、ニジェール、ナイジェリア、エジプトやインドの僻地など）を活動場所として選びます。このような場所ほどニーズが大きく、現地訪問による広報効果と親善こそが予防接種の緊急性を訴える上で大変重要だからです。

世界銀行のGroup Staff Association委員長であるダニエル・セレンさんは、この3人の女性について次のように話します。「私たち世界銀行は、1世代で極貧を終わらせ、人類共通の繁栄を目指して、日々活動しています。……これらの女性はまさに、世界を変え、教育・経済発展・保健で革新的かつインパクトの大きなプロジェクトを通じて人びとの生活をより良くできる女性のパワーを身をもって示しています」